

歴史史料      郷土資料館      旧市街地

## 1. はじめに

本荘地域は、江戸時代に城下町として酒田街道や矢島街道が通り、古雪港のある交通の要衝として栄えた。旧市街地は、本荘地域の中でも古くから続く商店が並び、江戸時代の町割りの形が残っている。現在、自動車での移動が多いため、旧市街地の道路は拡幅され、古くから残る町並みは変化している。

本荘地域の伝統や文化を伝え、歴史を創造していくために由利本荘市郷土資料館では、史料を収集し、保管・展示している。しかし、市民が活動に使えるような空間はなく、展示されている史料の紹介にとどまっている。

展示されている史料と街の関係を学ぶ場が資料館にできれば、旧市街地への集客が見込めるのではないか。

そこで、本荘地域の歴史を蓄積し、歴史資料と街をつなぐための郷土資料館を提案する。

## 2. 敷地概要

敷地は、秋田県由利本荘市美倉町とした。現在、本荘文化会館・由利本荘市図書館・本荘勤労青年ホームがある場所である(図1)。江戸時代は本荘藩の米蔵として米の貯蔵に利用され(図2)、明治時代以降は図書館として本が所蔵されてきた(図3)。周囲の油小路や中横町は、区画整備が行われ、新しい店舗や住宅に建て替えられている。由利本荘市の旧市街地に位置しており、周囲には商店が並んでいる。由利橋・本荘第一病院・羽後本荘駅に近いので、徒歩で移動可能である。敷地正面には、市内循環バスのバス停があり、市内の主要施設へ移動できる。

現在、駅前の組合病院跡地に、複合文化施設が建設中であり、文化会館や図書館の機能が移転され、郷土資料閲覧室が設置される予定である。

以上の点からこの敷地を選定した。



図1 敷地周辺地図



図2 貞享4年の様子



図3 大正14年の様子

## 4. 計画の概要

### 4-1. コンセプト

本計画では、壁の間を歩くことをコンセプトとした。様々な壁の間を歩くことによって、史料と街とのつながりを意識してもらうためである。

壁は、本荘地域の歴史と関わりの深い本荘公園(本荘城跡)を中心に、敷地内まで円を引いて、壁の形とした。円の中心は、敷地内に円弧が残ることで円の中心が意識され、街との関わりに気づききっかけとなることを目指した。

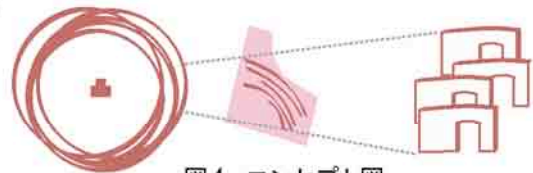


図4 コンセプト図

### 4-2. ゾーニング

敷地は、北側と西側に住宅が多く、南側と東側は、店舗が多い。また、北西から南東にかけて高低差がある。

このことから、北西側に収蔵庫、史料閲覧室を設け、南東側にカフェ、市民ギャラリー、ワークショップ室のような市民が活動に使える場所を設けた。常設展示室を年代順に壁で仕切ることとした。

現在の敷地内には、緑地が設けられ、散歩や通り道として利用されているので様々な方向から通り抜けできるように緑地を設けた。バス停付近には、バスを待つことのできる場所を設けて敷地内を利用できるようにした。

利用者のための駐車場は、敷地の隅を利用し、歩行者との動線が交わらないようにした。職員用の駐車場と搬入の出入りは、敷地の北側を利用することとした。

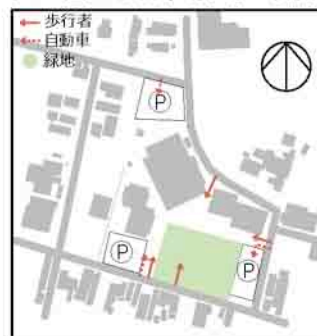


図5 現在の状況



図6 計画したゾーニング

#### 4-3. 空間構成

##### (1) 展示室

常設展示室は、現在の郷土資料館で展示されている順に入口から時代ごとに壁で仕切り、次の部屋に行くために壁をくぐるようにした。時代によって窓を設け、古い年代になるにつれて減らし、壁の材質も変えることとした。展示以外の壁には、書籍を並べ、閲覧できるようにした。

企画展示室は、壁を閉じたりするようにして自由に部屋を変えられるようにした。

##### (2) ワークショップ室

常設展示室と企画展示室の近くに設けることで、ワークショップ室を利用するまでに展示が目に触れるようにした。さらに、壁のとぎれた空間に配置することで、他の部屋からワークショップでの活動を見られるようにした。

##### (3) ギャラリー

エントランス付近に設けて、来館者が自由に利用できるようにした。また、庭に面した場所に配置することで資料館の敷地内を通る人にも見ることができるようにした。

##### (4) 資料館カフェ

館内に本荘地域の食文化を体験してもらうためにカフェを設ける。ギャラリーや中庭と近づけ、他の空間や外からカフェの様子が見えるようにした。

##### (5) 史料閲覧室

史料閲覧室には、検索するスペース、書籍閲覧するスペース、展示しない史料を閲覧するスペース、研究室を設ける。中央公園側に、劣化の恐れが少ない書籍類は、書籍閲覧スペースを設け、利用者が閲覧できるようにする。収蔵庫の近くの閲覧室には、劣化の恐れがある重要な史料を閲覧に利用する。



図8 全体模型写真

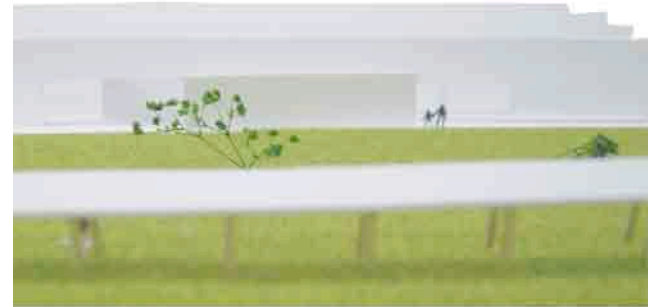


図9 バス停からの眺め

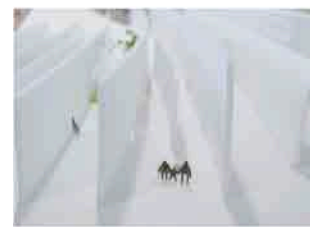


図10 展示室



図11 ギャラリーと資料館カフェ



図12 史料閲覧スペース

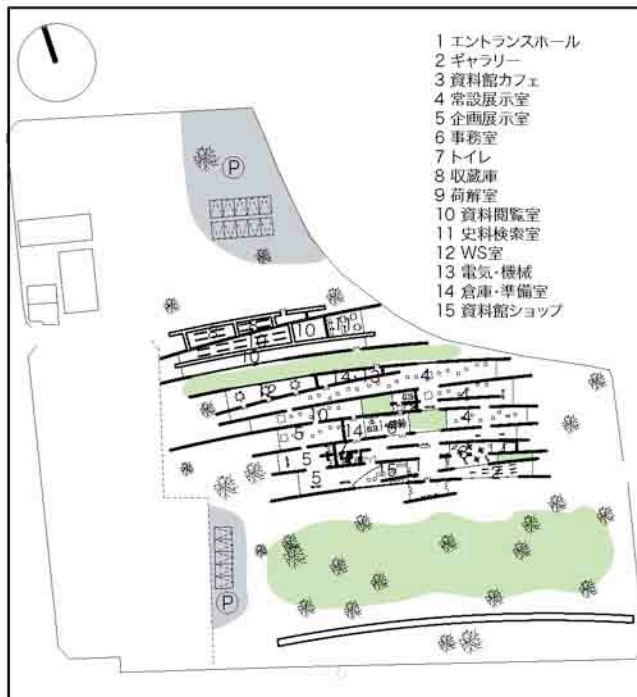


図7 平面図及び配置図

#### 5. まとめ

史料と街をつなげることを目的とした郷土資料館を提案した。かつて交通の要衝として栄えた本荘地域には、昔から続く伝統や文化がある。資料館は、このような本荘地域の特徴を地域の住民が気軽に学べる場所となることで旧市街地へを見直すきっかけになるだろう。

##### 【引用文献】

- 1) 子吉川
- 2) 本荘の思い出
- 3) 本荘市史 通史編 I～III
- 4) 本荘市史 普及編
- 5) 本荘市史 I～VI
- 6) 本荘市史 文化・民俗編